



# コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

## 認知機能リハビリのプロセスアプローチ

脳卒中連携を考える会にて報告

院長 鍛本 真一郎

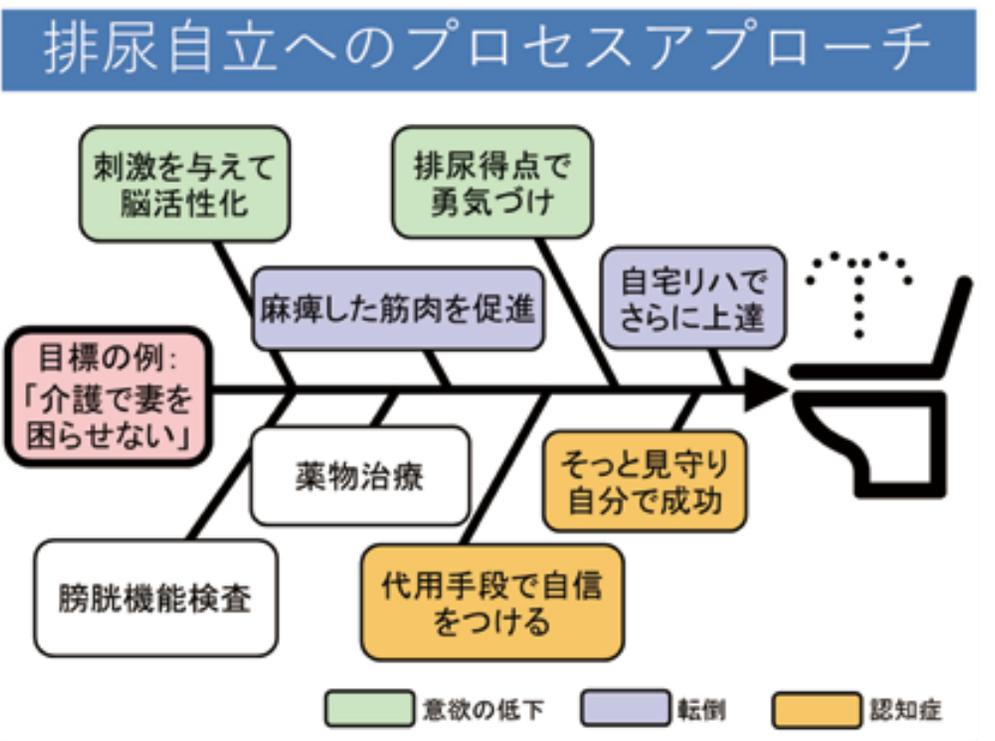
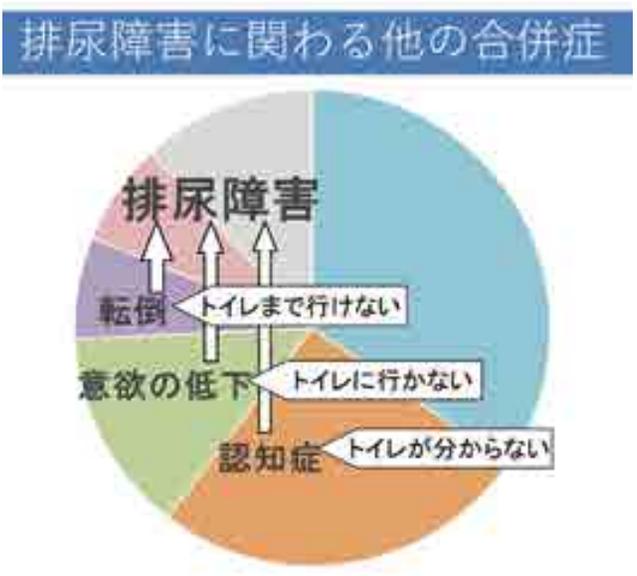
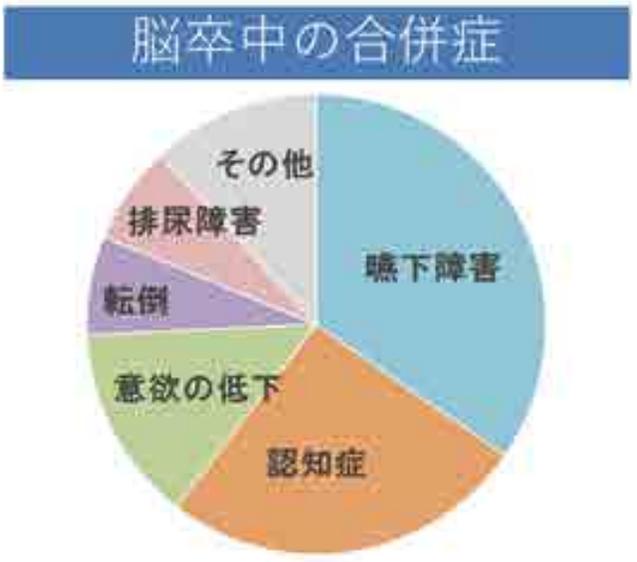
【はじめに】  
地域で脳卒中急性期治療の一翼を担うのが川崎医科大学の脳卒中科・脳神経外科です。そこからリハビリテーションへの円滑なバトンタッチをするための意見交換会が毎年開催されています。当院からは今回（7月25日）、脳卒中の複合する合併症を認知機能リハビリで分類するプロセスアプローチを紹介しました。

【合併症は相互に影響】  
（図1）上段は脳卒中合併症の分類です。このうち特に介護負担が大きいのが排尿障害ですが、実は（図1）下段のように円グラフの他の項目と密接につながっています。例えば転倒するほどの麻痺があればトイレに行けませんし、意欲が低下すればトイレに行く気持がささげられません。そもそも認知症があればトイレすら忘れてしまいます。脳卒中後の認知症は30%前後といわれます。

【排尿自立率 78%】  
（図2）は相互に影響する合併症ごとに順番に時には同時

にリハビリ・メニューを変えて目標到達を目指します。途中で毎週カンファレンスを行いリハビリ内容を見直します。これがプロセスアプローチです。その結果、昨年度1年間に回復期リハビリテーション病棟で失禁があった患者様の78%が排尿自立を果たしています。

このように急性期の治療・検査が終わってリハビリを待つ患者さんを速やかに受け付けてきるよう日々心がけています。



（図1）上段は脳卒中合併症の分類。いずれも暮らしに支障を来しますが、下段のように複数の合併症をまとめるのがリハビリ医療です。

（図2）リハビリ医療では複数の合併症を時間軸に並べて治療します。これをプロセスアプローチと呼びます。



片足で立ち、立位を保つ様子

コープリハビリテーション病院  
理学療法士 桑原 京佑  
理学療法士 樋口 愛子  
老健あかね

平成18年4月1日から市の委託事業として高齢者支援センターで介護予防教室が開始されました。当院への依頼は体力測定と体操指導で、6月に生協会館、7月に相生町の公民館へ伺いました。体力測定でわかった事は継続した運動により健康を維持できる方が多い事です。特に何度も体操に参加されている方は、立ち上がりや片足立ちなど、標準値を超える値を出す方が居られ、運動の大切さを実感しました。地域の方との交流も良い刺激となり、元気に会話する様子も健康には重要な点と感じました。我々の取り組みは地域密着であり、地元の方と協力し、健康を維持できるように関わりをより強めていきたいです。当院では短期集中健幸アップ教室を毎週開催しておりますので、ぜひご参加下さい。

普段からの運動は  
体力向上に  
大切だと実感  
高齢者支援センター  
での体力測定

入院や入所に際して、部屋代はいただいません。

# 医療・介護の 合同事例検討会

「自宅で暮らし続けるために」

換をします。そこから質の高いサービスのヒントを持ち帰ってもらうのがこの会の目的です。

## 「リハビリを卒業という視点」

1例目は70代女性。脳卒中のリハビリ入院で食事やトイレは自立したけど高次脳機能障害が残り家事ができません。そこで通所リハビリを利用し半年後には料理や買い物自立しました。通常ならこれでリハビリは終了ですが、家族はこれだけ良かったからずっと通わせたいと希望します。リハビリは治療なので延々と提供できないことを理解してもらおうことが課題でした。リハビリだけが人生ではありませんから。

2例目は80代女性。大腿骨を骨折するも愛犬に逢いたく入院を中断。急遽、通所リハビリへつなぎ日常生活に支障なく一人暮らしまで回復。ところが愛犬との死別が独居の自信を失わせ通所リハビリが終了できないのは1例目と同じです。

3例目は90歳近い女性。すでに認知症がすすんでお



報告してくれた皆さん。左から順に1例目の松江洋祐理学療法士(老健あかね通所リハビリ)、2例目の岡本智美保健師(倉敷市水島高齢者支援センター)、森脇海如ケアマネージャー(医療生協 水島居宅介護支援事業所)。( )内は所属事業所。

【はじめに】  
定例の「在宅関連事業所合同事例検討会」がコープリハビリテーション病院で開催されました(7月31日)。倉敷医療生活協同組合には病院・診療所のほか介護保険の居宅サービスを担う事業所が複数あります。どの事業所も利用者様がその人らしく暮らし続けられる努力を日々しています。そのなかで相談に乗って欲しい事例を提示してもらい事業所を越えた意見交

り失禁で室内は汚染。同居の息子さんも目を配る余裕のない生活。通所リハビリを続ければ基本動作は維持できて先々の展望が見えないのが課題でした。

## 「やっぱり地域丸ごとリハビリ」

リハビリを提供する前に「〇〇がしたい」を目標に利用者や家族とゴールを決めることが必要です。そのゴールはワクワクするものでなければなりません。だから暮らし方や家族関係から見えなかった課題をさぐります。その結果として本人が主体性をもって対処できるよう支援します。なによりも人が孤立せず健やかに暮らす社会に貢献するのが私たちの使命ですから。

コープリハビリテーション病院  
院長 鍛本真一郎

## 平和を祈って 被爆地広島まで 平和行進



老健あかねの入所者の方が代表団に平和の願いがこもった千羽鶴を手渡し(7/22)



提示された事例を担当している他の事業所からも情報提供と提案がありました。

## 水島港まつり



市民総おどりに参加(7/27)

コープリハ・あかね  
**まつり**  
10月12日(土)  
15時~17時  
病院西芝生広場  
(雨天:病院内にて開催予定)

お問い合わせ先  
倉敷医療生活協同組合  
コープリハビリテーション病院  
老人保健施設 老健あかね  
TEL 086-444-3212 (代表)  
受付時間 平日9:00~16:30  
土曜日9:00~12:00  
(日祝・年末年始を除く)  
〒712-8057  
倉敷市水島東千鳥町1-60  
ホームページ: <http://coopreha.jp/>  
メールアドレス: [info@coopreha.jp](mailto:info@coopreha.jp)  
広報委員会  
発行責任者 笹舘 勝人

診療表					老健あかね [086-446-6541]	
コープリハビリテーション病院 外来受付時間 8:30~12:00 [086-444-3212]					訪問リハビリ	通所リハビリ
外来	装具 外来	歯科	短時間 通所 リハビリ	短期集中 健幸アップ 教室		
午前 9:00~ 12:30	14:30~ 15:00	午後	9:00~ 16:50	9:30~ 11:00	○	○
月			○		○	○
火	渡辺 (予約制)	(予約制)	○		○	○
水	川村		○		○	○
木	太田	(予約制)	○		○	○
金	飯塚		○		○	○
土				○		○

医療福祉相談・連携室		
相談 受付時間	平日	9:00~12:00 13:30~16:30
	土曜日	9:00~12:00
	日・祝日	休み

4月より水島協同病院から異動してきました。よろしく願っています。

**新入職員紹介**

コープリハビリテーション病院 薬剤師 新田可奈子	コープリハビリテーション病院 4階病棟 看護師 石原枝里子
コープリハビリテーション病院 3階病棟 ナースエイド 永田久美子	コープリハビリテーション病院 3階病棟 看護師 岸麻美
コープリハビリテーション病院 3階病棟 看護師 有馬幸恵	コープリハビリテーション病院 4階病棟 看護師 木村彩加

無料低額診療事業・無料低額介護老人保健施設利用事業を行っています。

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。